

新成人を祝う会



1月9日(日)井郷コミュニティセンターで井郷地区の新成人を祝う会があった。女性の大半が振り袖、男性は黒色のスーツに身を包み式典に参加した。

式典では、市民の誓いの唱和、新成人代表 今井昂平さんと 村松麻衣さんが誓いの言葉を述べられた。パーティでは、商品券の当たるビンゴゲームや恩師との語らいで会場は華やいだ雰囲気包まれた。

今年は、182名(内出席者140名77%)が新成人を迎えた。昨年に比べ12名少なく、少子化の影響で年々減少している。そのうち下古屋自治区の成人は15名(男11名、女4名)のみなさんです。

原 光貴、梅村祐葵、鈴木佑典、大矢浩之、住田知惠民、橋本朗考、山本勇太、安藤豪良、今井昂平、大竹里奈、國本鉄彦、近藤 匠、高山千恵美、立石くるみ、両星志保



区民も参加・搗いた！

熱田神宮奉納大鏡餅搗き



昨年6月13日、福岡銚二さんの田を御齋田として、下古屋の早乙女も参加、五穀豊穰を祈るが如く、舞うが如くにお田植え祭にて早苗を植え、幸いにも台風等の被害もなく、餅米の収穫も無事終わった。12月26日、熱田神宮豊年講豊田支部が主催する奉納大鏡餅の餅搗きがJAあい

ち豊田猿投選果場を会場として、厳粛なる神事後、横一列に並べられた13基の臼で一齐に餅搗きを行った。上げた餅は、海部郡の練り師を中心に講員10名によって練り上げ、5俵取りの鏡餅が3時間たらずで見事に出来上がった。

大鏡餅は、12月30日、熱田神宮に搬入し、大鳥居から御垣内まで、木遣り同好会を先導に、参詣者が見守る中、講員100名の隊列を組み、粛々と進み無事奉納された。

(小栗富保氏 記)



年末年始の伝承行事

山の講

12月9日(木) 師走だというのに風もなく穏やかな日差しの中、年行事の方々のお世話で、区墓地の北にある山の神の祠の前で区民多数が参加して、伝承行事「山の講」が行われた。昔は山仕事をする人々の安全を祈願する祭りが、時代とともに子供の健やかな成長を願うとともに自然の恵みへ感謝をし無病息災を祈る祭りに変わった。供養後、炭火で餅や芋を焼いて食べ、無病息災を祈った。



秋葉山祭り・道満さん



12月14日(火)秋葉山常夜燈の前で秋葉講の代参の方が「正一位秋葉神社火防守護」受けてこられた大札のもとで伝承行事「秋葉山祭り」が行われた。

秋葉山とは、静岡県春野町にある秋葉神社で防火の神様です。

つづいて、道満塚の祠で供養が行われた。

左義長

1月15日(土)七草も過ぎ、冬空のもと八柱神社境内で正月の門松、しめ飾り、書き初めなどを焼く下古屋、天道区民合同の左義長が行われた。「どんど焼き」とも言われ焚き火で餅を焼いて、これを食べ無病息災を祈った。



ゴミの山（集会場）

消防署の防火点検で集会場の防火水槽が、緊急時に使用の妨げになると指摘を受けた。防火水槽の周りがゴミステーションになっていたため、万一の時には、消火活動に支障を来す。そこで区として環境委員の沢村さん、梅村（寛）さんをお願いし写真のように鉄骨で柵を作っていたいただいた。ご協力ありがとうございました。

区民のみなさん、ゴミだしには注意しましょう。防火水槽が必要とならないように。「火の用心」



初寄り合い



1月2日（日）自治区初寄り合いが開かれ、区民の結束と親睦を図った。

恒例の平成17年度の自治区役員の推薦が投票によって行われ次の方々が推薦されました。

区長 木村安雄さん(11組)、副区長 安藤 勲さん(8組)、副区長 安藤一三さん(3組)。なお、3月13日の自治区総会で承認されれば、4月からその任に当たられる。

お鍬山でのシイタケ栽培について（募集！）

2月20日（日）お鍬山でシイタケ栽培のためのホダ木にシイタケ菌の打ち込み作業を行います。各組から代表者を選出して作業を行います。参加希望の方は各組の組長まで申し出てください。

なお、作成したホダ木はお鍬山の指定場所で各組ごとに管理していただくことになります。

栽培方法：

樹陰などの半日陰で、涼しく湿り気のある場所に立てかけて栽培します。水をかけて常に原木が湿った状態を保ちます。シイタケ菌は高温と乾燥に弱いので、決して水を切らさないように、また強い直射日光に長時間あてないように管理します。水を張ったプランターなどに原木をたてかけておくと水管理が楽です。

この状態で1年間管理すると、シイタケ菌が原木全体に回り、完熟します。その後は春と秋にシイタケが発生しますので、大きくなってきたら適宜収穫してください。シイタケのかさが開ききらないうちに収穫するのがコツです。管理状態がよければ、続けて数年は収穫が楽しめます。

